



第 61 回（平成 23 年 5 月 11 日）定例会の研究発表

手稲の道路今昔

新発寒 立花邦雄氏



私達が日常何気なく（大雪の日や工事中の時、まれには事故処理中の時を除いて）あって当然のように利用している道路。その道路には、各々誕生に至る経緯があり、命名にも法に基づく規則制のある事がわかりました。

◇ 札幌に於ける道路整備の画期

氏のお話によると、札幌市の道路（広義には都市機能・インフラ）は、1972年に開催された第 11 回冬季オリンピックによって、10 年速く整備されたとの事です。開閉会式やスケート競技等の会場となった南区、ジャンプ競技場の中央区、アルペン種目（滑降を除く）の手稲区等が恩恵を受けました。

◇ 政令都市のメリット

道路の種類には、国道・地方道・市町村道があり、政令指定都市・札幌は、地方道（道道）の整備をも荷っていることがわかりました。

札幌市の国道	総延長	190km
〃 道道	〃	230km
〃 市道	〃	4,969km

◇ 札幌市の舗装率

札幌市の道路総延長は、上図の通り 5,389km にも及びますが、その舗装率は、生活道路の簡易舗装の部分を含めると、ほぼ 100%で、全国の都市の中でトップクラス。

◇ 道路の名称

道路の名称は、国庫補助事業のよって立つ法律によって定まる。

道路事業 道路法 路線名 ○○○線

街路事業 都市計画法 街路名 ○○○通

◇ 現在の手稲の道路

追分通 …………… 西区との分区に際し境界道となり、55 回例会で詳論したが、外郭環状の北回り部分としての性格と、幻の南環状線の計画は興味深い。

手稲駅裏通線 …… 沿線住民の認知度はほぼゼロ。

道道石狩手稲線 … 上記道路と共に 21 回、58 回例会で、馬鉄の道として、多面的に焦点が当てられた。

鉄工団地通 …………… 最も新しく完成し、中の川・三樽別川との合流点を含むことから、工事に際し河川法との関係で工夫を要した。

西宮の沢・新発寒通、富丘通 … JR と直交する道路は、跨線橋に関する諸問題の解決が避けられない。

（文責：土谷聖史）

『手稲の災害史 ～水・風雪・火災等～』について

富丘 野村武雄氏

私は、昭和 38 年 9 月に手稲前田の三晃団地に入った。30 戸ほどの一人だったが、その頃は大変、風光明媚なところだった。

ところが 40 年 9 月に台風が相次いで来て前田一帯が湖になってしまった。その様子を話す、手稲そのものがアイヌ語で「濡れているところ、湿地」という意味を表しているようにこの地帯には、軽川をはじめ星置川、蜀川、三樽別川、旧中の川などが集まる地区で、低くなっているためこれらの水の排水を行うため「新川」が作られたという経過がある。またこの地帯は泥炭地でもあり海拔は 5m ほどの低いところだった。

水害の時は、避難地から消防団の筏で自宅に戻ると水がジワジワ上がってきて恐怖だった。水とともに泥も入ってきて、それが乾くと剥がずのが大変だった。便所も汲み取りだったので、汚物が浮かぶなど汚かった。

公民館に避難してボランティア、民生委員の方からオニギリとかパンを頂いたが、そうしたなかで避難をしないで自宅の天井裏で過ごした親友もいたが、ネズミが傍らに寄ってきたそうだ。1 週間ほど水に浸かっていた。飲用水の確保でポンプを使ったが、泥炭などで金気だったので、自衛隊の給水車が来た。

自衛隊、消防署などに、大変、助けられたものだった。

最後に、この水害報告に関連して幸い、札幌市が今回の東日本大震災を受けて現在の防災計画を見直すことにしたそうだが、この点大いに期待したい。



東日本大震災でのボランティア活動報告について

富丘 齊藤隆夫氏



4 月 2 日から 9 日間、宮城県多賀城市へ、被災者の支援活動を行うボランティアに行ってきた。当地へは車に水、食料、寝袋などを積んで自費で行った。

向こうでは 6、7 人でグループを作って浸水した住宅の家具、畳、衣類、電化製品等の運び出しや泥のかき出しなどの作業を行った。

津波の直接の襲来こそ無かったが、浸水しかも床下浸水が多かったが、私は高齢者の家の手伝いをした。水が引かなかったので畳が水を含んでボールで引っ張り出したり、家具も膨らんで衣類など入ったタンスは開けられず、裏から破って取り出すほどだった。油、海水が混じったヘドロ状態だったので、洗っても駄目で投げるし

かなかった。

本格的なボランティアは今回初めてだったが、大変、感謝された。今後は、機械などで出来ない部分も出てきて、これから人手が必要になってくると思われる。私が見たところ復興には 10 年単位の時間がかかると思われる。

（文責：村元健治）

次回の予定

次回（7 月 13 日）は、会員発表で、水落恒彦氏の「ふるさと樺太の思い」、濱埜静子氏の「十勝でのバツタ発生から手稲山口への飛来」を学習する予定です。